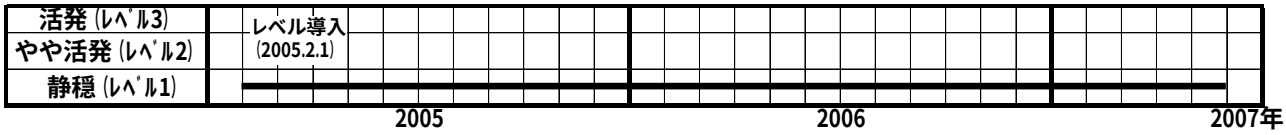
吾 妻 山

○ 火山活動評価：静穏な状況（レベル１）

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

現在の火山活動度レベルは１です。2005 年２月１日の導入以降、レベル１が継続しています。



○ 概況

・噴煙など表面現象の状況（図２）

遠望観測（監視カメラ：大穴火口の東北東約 14㎞）では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 30m以下で低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図３）

火山性地震は少ない状況が続いています。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図４～５）

山体周辺で行っている GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

５月16日～18日に大穴・旧火口周辺で行ったGPS繰り返し観測では、昨年（2006年）７月頃からの地震回数の増加に伴うと考えられる大穴・旧火口付近の浅い場所で膨張を示す地殻変動（各観測点の地点間距離は伸びる変化）が観測されました。前回地震活動が活発化した2003年秋から2004年秋にも、地震回数の増加に伴い大穴・旧火口付近の地下で膨張を示す地殻変動が観測されています。

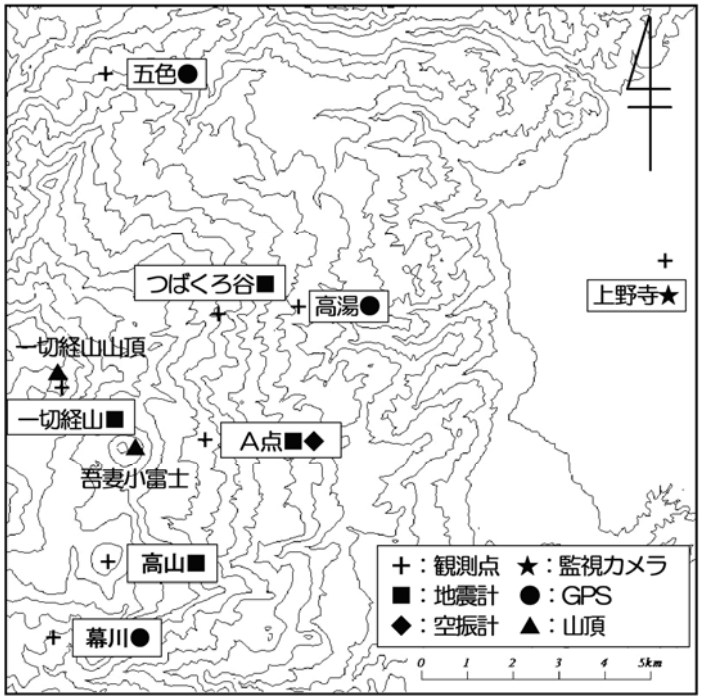


図１　吾妻山 観測点配置図

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号　平 17 総使、第 503 号）

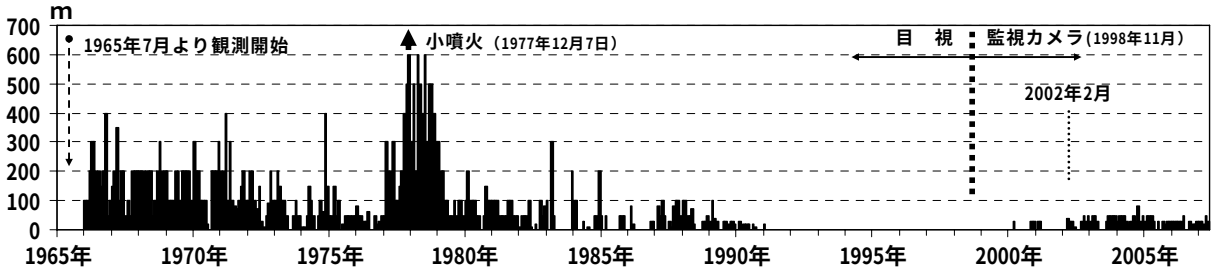


図２　吾妻山 月別最大噴気(噴煙)高(1965 年７月～2007 年５月)

1998 年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約 20㎞）からの目視観測です。
1998 年から監視カメラ（大穴火口の東北東約 14㎞）による観測です。
2002 年２月以前は定時(09 時,15 時)及び随時観測による高さです。
2002 年２月以後は全ての時間を収録データから観測した高さです。

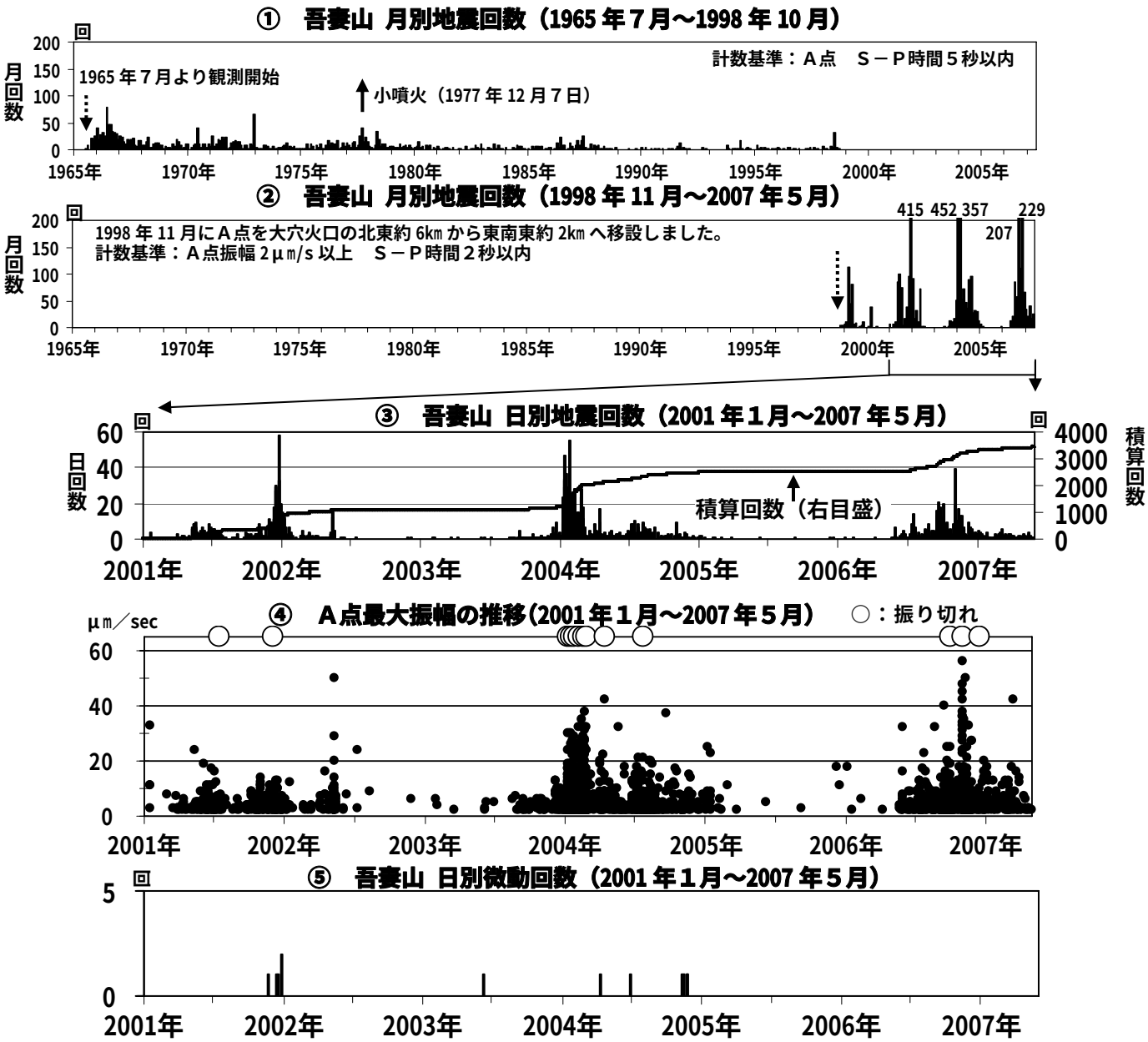


図３　吾妻山の地震回数および微動回数

①：月別地震回数（1965 年７月～1998 年 10 月）
②：月別地震回数（1998 年 11 月～2007 年５月）
③：日別地震回数（2001 年１月～2007 年５月）
④：Ａ点最大振幅の推移（2001 年１月～2007 年５月）
⑤：日別微動回数（2001 年１月～2007 年５月）

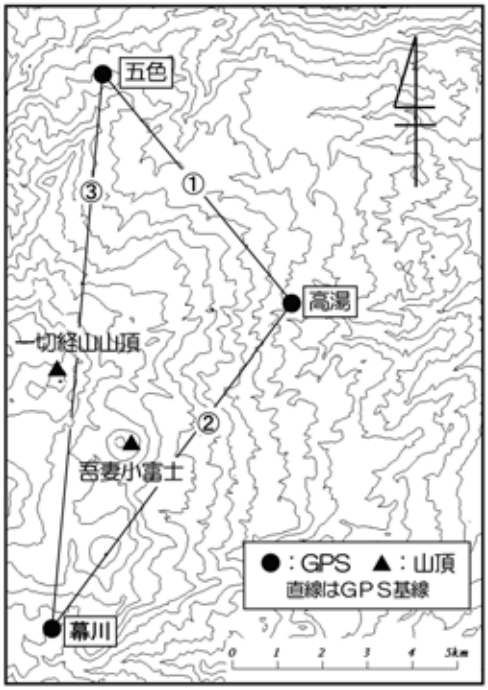


図４　吾妻山 GPS 観測点配置図
GPS 基線①～③は図５の①～③に対応しています。

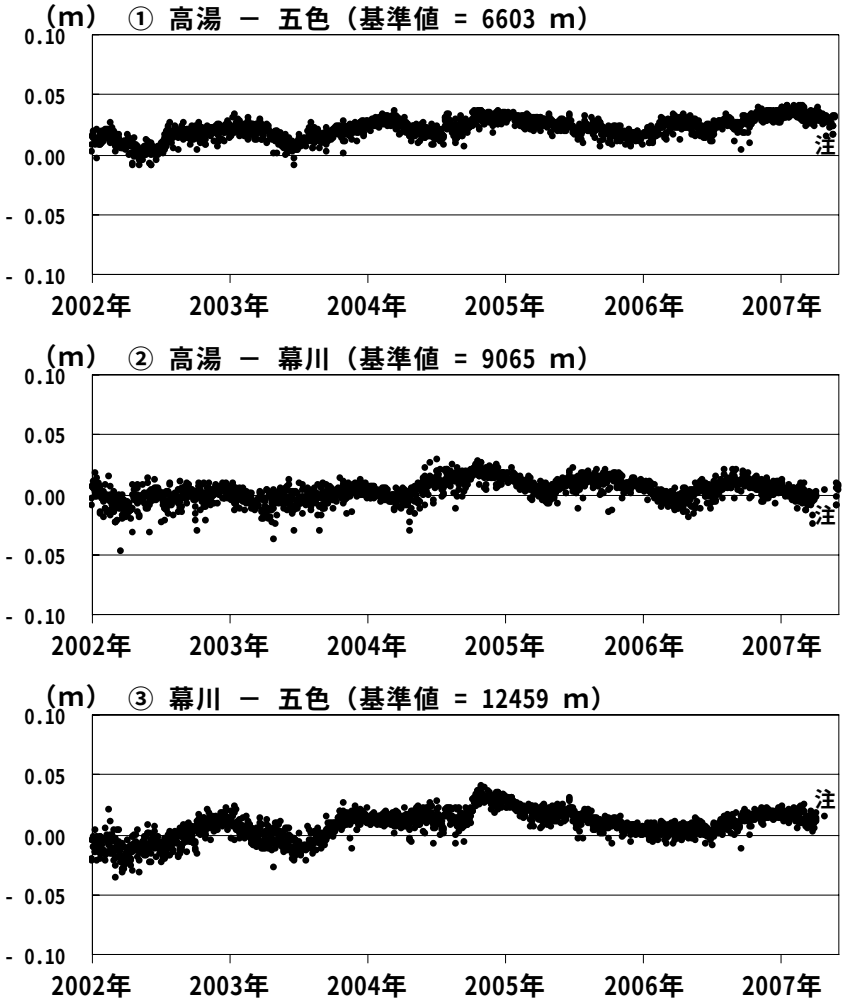


図５　吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年１月～2007 年５月）
①～③は図４の GPS 基線①～③に対応しています。
注）幕川・五色観測点障害のため、一部に欠測があります。

GPS 繰り返し観測の結果

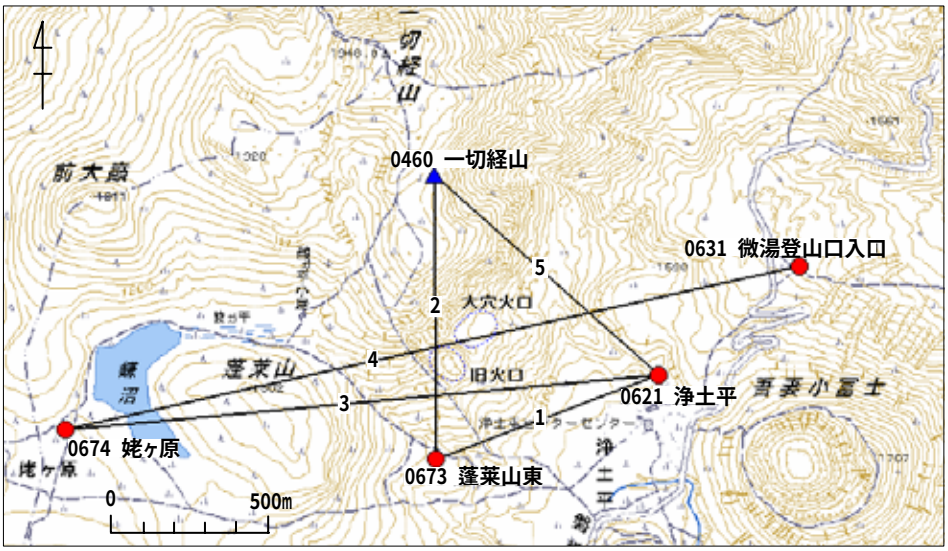


図６ 吾妻山のGPS 繰り返し観測の各観測点および基線の位置

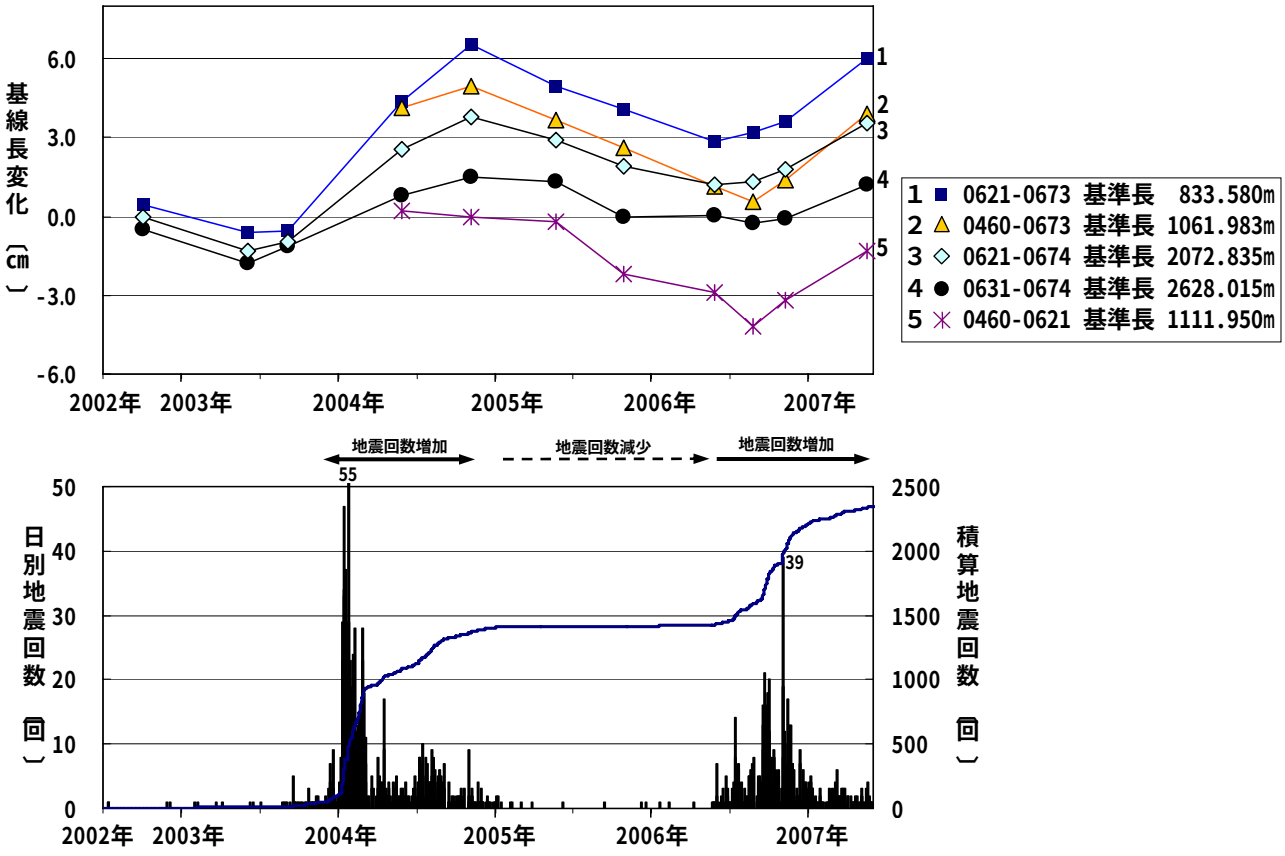


図７ 吾妻山の日別地震回数及びGPS 繰り返し観測による各観測点間距離の変化図

GPS 繰り返し観測の各観測点および基線の位置は、図６に示す。

昨年(2006年)７月頃からの地震回数の増加に伴い、大穴・旧火口付近の浅い場所で膨張を示す地殻変動（各観測点の地点間距離が伸びる変化）が観測されました。前回地震活動が活発化した2003年秋から2004年秋にも、地震回数の増加に伴い、大穴・旧火口付近の浅い場所で膨張を示す地殻変動が観測されています。しかし、現地観測（2004年、2005年、2006年）では表面現象等に特段の変化は見られませんでした。その後、地震回数の減少とともに大穴・旧火口付近の地下では収縮を示す地殻変動が観測されました。